

環境活動レポート

2015 年度版

(2015 年 6 月～2016 年 5 月)



2016 年 7 月発行



目次

1. 経営理念 環境方針	0
1-1. 経営理念	0
1-2. 環境方針	0
1-3. リサイクル・リユース	0
2. 事業活動の概要	1
2-1. 事業活動の概要.....	1
2-2. 事業所名および代表者名	1
2-3. 所在地.....	1
2-4. 環境管理責任者氏名および連絡先	1
2-5. 事業の規模.....	1
2-6. 認証・登録の対象組織・活動	1
3. 組織	2
3-1. 実施体制図.....	2
3-2. 各役割の責任と権限	2
4. 環境目標とその実績	3
4-1. 目標値	3
4-2. 実績値	4
5. 環境活動の取り組み結果とその評価	5
5-1. 二酸化炭素排出量の削減	5
5-2. ゴミ排出量削減.....	6
5-3. 水使用量削減	6
5-4. 化学薬品管理	7
5-5. グリーン購入推進	7
5-6. 歩留り向上.....	7
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	8
7. 地域環境活動への参加	8
8. 代表者による評価	9



1. 経営理念 環境方針

1-1. 経営理念

「本物を創る」

日本特殊光学樹脂株式会社は、「本物を創る」という社訓のもと、社員が一丸となって、「本物」のモノづくりに取り組んでいます。他ではできない、最高の品質・性能の製品生産を日々追求し、常に工夫を、挑戦を、忘れずに、最先端の加工技術で、お客様のご要望にお応えします。

同時に地球環境への配慮、個人情報保護など、「本物」を創造する企業に必要な不可欠な要素も経営の最重要課題の中にあげ、「本物の町工場」を目指す。それが日本特殊光学樹脂株式会社の経営です。

1-2. 環境方針

NTKJは高度な製品を世に送り出すとともに、地球環境の保全にも取り組み、豊かで快適な地球環境を次世代に引き継いでいくことを責務と考え、以下環境方針を定め、企業として社会に貢献していきます。

事業活動に伴う環境負荷を最小にするために、次の取り組みを行います。

- ・生産工程における歩留向上
- ・二酸化炭素排出量の削減
- ・排出物の分別による再資源化と廃棄物の削減を推進
- ・節水による水使用量の削減
- ・グリーン購入の促進
- ・化学薬品類の管理の徹底

事業活動に伴う環境関連法規等を順守します

- ・地域活動における環境活動に参加し、社会貢献活動を推進します。
- ・教育・訓練により、従業員の環境に関する知識と意識を高めます。
- ・環境方針を公開し、全従業員に周知します。

1-3. リサイクル・リユース

当社からの廃棄物を極力低減し、リサイクル活動に努めます。

- ・プラスチック原材料のリサイクル・リユース
- ・金型原材料のリサイクル・リユース
- ・産業廃棄物の分別による資源のリサイクル

従業員の環境への意識を高め、全員で環境問題に取り組めます。

2011年1月5日制定
代表取締役 佐藤公一



2. 事業活動の概要

2-1. 事業活動の概要

日本特殊光学樹脂株式会社 (NTKJ) は、高精度プラスチックレンズメーカーとしてフレネルレンズ、レンチキュラーレンズ、平面プリズム、リニアフレネルレンズ、フライアイレンズ、導光板、非球面レンズなどプラスチック製光学部品に関して、小型の製品から、超大型の製品まで特殊レンズの製造・販売を行っております。

2-2. 事業所名および代表者名

事業所名： 日本特殊光学樹脂 株式会社
代表者名： 佐藤 公一

2-3. 所在地

本社： 東京都板橋区蓮根 2-16-10
熊谷工場： 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原 138-6

2-4. 環境管理責任者氏名および連絡先

責任者： 関谷 忠明
副責任者： 八須 洋輔
連絡先： info@ntkj.co.jp

2-5. 事業の規模

資本金： 1000 万円
従業員数： 27 人 (2016 年 6 月時点)
設立： 1978 年 6 月 (昭和 53 年)
工場延べ床面積： 7700m²

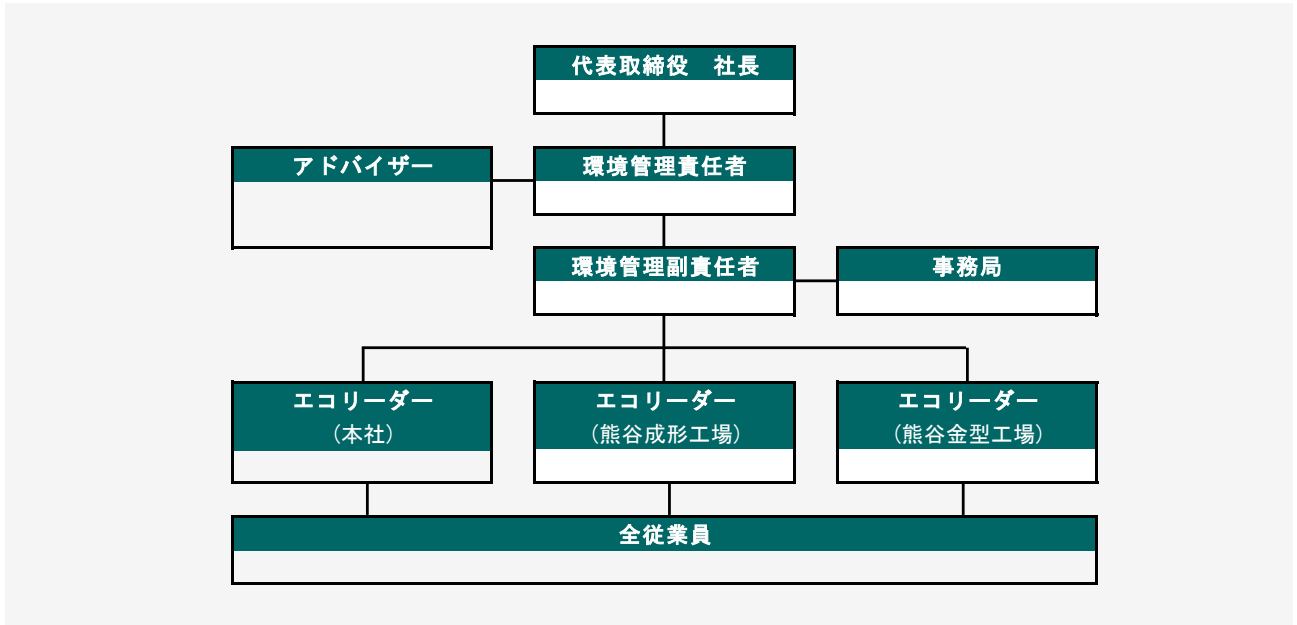
2-6. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 日本特殊光学樹脂株式会社
関連事業所： 本社事務所
熊谷工場
活動： プラスチックレンズ及び金型の製造販売



3. 組織

3-1. 実施体制図



3-2. 各役割の責任と権限

役割	主な責任と権限
社長	1. 環境方針の制定 2. 環境責任者の指名 3. 経営資源（人、設備、情報等）の提供 4. EA21取組状況の評価と改善指示 5. 環境目標、環境活動計画書策定時の承認
アドバイザー	1. 社内環境保全活動に関して助言を行う 2. EA21の運用/活動に関して助言を行う
環境管理責任者	1. EA21の構築と運用 2. 遵法性評価 3. 環境目標と活動計画の実施状況の検討 4. コミュニケーション記録、是正・予防記録の承認 5. 社長にEA21の運用状況の報告 6. 手順書の承認
環境管理副責任者	1. 環境管理責任者に準ずる責任と権限を事業所ごとに負う 2. 環境管理責任者への報告
エコアクション事務局	1. 文書の管理 2. 定例会議開催の案内と議事録の作成 3. 環境に関するデータのまとめ 4. 対外部の窓口 5. 組織変更時の官公への届出
エコリーダー	1. 自部門に関する目標、活動計画の実施責任 2. EA21の周知、徹底と教育の計画 3. 活動計画の討議、目標のフォロー 4. 事務局業務（文書管理、対外部窓口） 5. 是正・予防の対策立案と実施責任者 6. 緊急事態の訓練責任者
一般従業員	1. 自部門に関する目標、活動計画の実施 2. 緊急事態への対応 3. 教育訓練の受講 4. 省エネ、分別排出、薬品管理等、決められた事の実施



4. 環境目標とその実績

4-1. 目標値

・熊谷

項目	基準年度 2010年	単位	目標値		
			2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素削減	580,925	kg-CO2	-3.4%	-4.0%	-5.0%
			561,174	557,688	551,879
電力消費量削減 (成形工場)	285,976	kWh	-3.4%	-4.0%	-5.0%
			276,253	274,537	271,677
電力消費量削減 (金型工場)	704,738	kWh	-3.4%	-4.0%	-5.0%
			680,777	676,548	669,501
重油消費量削減	59,000	L	-3.4%	-4.0%	-5.0%
			56,994	56,640	56,050
ゴミ排出量削減 ^{※1}	2,400	kg	-1.5%	-2.0%	-2.5%
			2,364	2,352	2,340
水使用量削減	1,175	m ³	-2.2%	-2.5%	-2.8%
			1,149	1,146	1,142
化学薬品管理			管理の徹底とムダ遣いの削減		
グリーン購入推進			備品類のグリーン購入100%		
歩留向上			歩留99.9%		
地域環境活動			地域活動に積極的に参加する		
<p>※上表の数値は、上段は削減率、下段は使用量(排出量)を示す。 削減率は基準年度2010年度からの割合を示す 年度は6月1日～翌5月31日までを示す。 ※1 ゴミ排出量削減の目標値は2013年度を新基準年度とする。</p>					

注記: 購入電力の排出係数は、2011年度の東京電力二酸化炭素係数 0.463kg-co2/kwh で計算

・本社

項目	(新)基準年度 ^{※2} 2014年度	単位	目標値		
			2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素削減	4,231	kg-CO2	-0.5%	-1.0%	-1.5%
			4,210	4,188	4,167
電力消費量削減	9,119	kWh	-0.5%	-1.0%	-1.5%
			9,073	9,028	8,982
都市ガス消費量 削減	134	Nm ³	-0.5%	-1.2%	-1.9%
			133	132	131
ゴミ排出量削減	78	kg	-1.8%	-3.0%	-4.5%
			76	75	74
水使用量削減	50	m ³	-1.5%	-4.0%	-7.0%
			49	48	47
化学薬品管理			管理の徹底とムダ遣いの削減		
グリーン購入推進			備品類のグリーン購入100%		
地域環境活動			地域活動に積極的に参加する		
<p>※2 基準年度は工場移転や事業所移転があったため 2014年度(2014年6月～2015年5月)のデータを元に算出する</p>					

注記: 購入電力の排出係数は、2011年度の東京電力二酸化炭素係数 0.463kg-co2/kwh で計算



4-2. 実績値

2015年度実績値

・熊谷

項目	単位	基準年度 2010年		実績値			
				2015年度	2016年度	2017年度	
二酸化炭素削減	kg-CO2	580,925	削減目標	-3.4%	-4.0%	-5.0%	
			目標値	561,174	557,688	551,879	
			実績値	394,038			
			実績比	-30%			
	電力消費量削減 (成形工場)	kWh	285,976	削減目標	-3.4%	-4.0%	-5.0%
				目標値	276,253	274,537	271,677
				実績値	320,021		
				実績比	16%		
	電力消費量削減 (金型工場)	kWh	704,738	削減目標	-3.4%	-4.0%	-5.0%
				目標値	680,777	676,548	669,501
				実績値	530,435		
				実績比	-22%		
重油消費量削減	L	59,000	削減目標	-3.4%	-4.0%	-5.0%	
			目標値	56,994	56,640	56,050	
			実績値	4,000			
			実績比	-93%			
ゴミ排出量削減 ^{※1}	kg	2,400	削減目標	-1.5%	-2.0%	-2.5%	
			目標値	2,364	2,400	2,340	
			実績値	2,340			
			実績比	-1%			
水使用量削減	m ³	1,175	削減目標	-2.2%	-2.5%	-2.8%	
			目標値	1,149	1,146	1,142	
			実績値	442			
			実績比	-62%			

※ 削減目標及び目標値は基準年度2010年度からの割合を示す
年度は6月1日～翌5月31日までを示す。

※1…ゴミ排出量削減の目標値は2013年度を新基準年度とする。

・本社

項目	単位	基準年度 2014年度		実績値			
				2015年度	2016年度	2017年度	
二酸化炭素削減	kg-CO2	4,231	削減目標	-0.5%	-1.0%	-1.5%	
			目標値	4,210	4,188	4,167	
			実績値	4,054			
			実績比	-4%			
	電力消費量削減	kWh	9,119	削減目標	-0.5%	-1.0%	-1.5%
				目標値	9,073	9,028	8,982
				実績値	8,741		
				実績比	-4%		
	都市ガス使用量	Nm ³	134	削減目標	-0.5%	-1.0%	-1.5%
				目標値	133	133	132
				実績値	128		
				実績比	-4%		
ゴミ排出量削減	kg	78	削減目標	-1.8%	-3.0%	-4.5%	
			目標値	76	75	74	
			実績値	94			
			実績比	23%			
水使用量削減	m ³	50	削減目標	-1.5%	-4.0%	-7.0%	
			目標値	49	48	47	
			実績値	40			
			実績比	-19%			

注記: 購入電力の排出係数は、2011年度の東京電力二酸化炭素係数 0.463kg-co2/kwh で計算

5. 環境活動の取り組み結果とその評価

5-1. 二酸化炭素排出量の削減

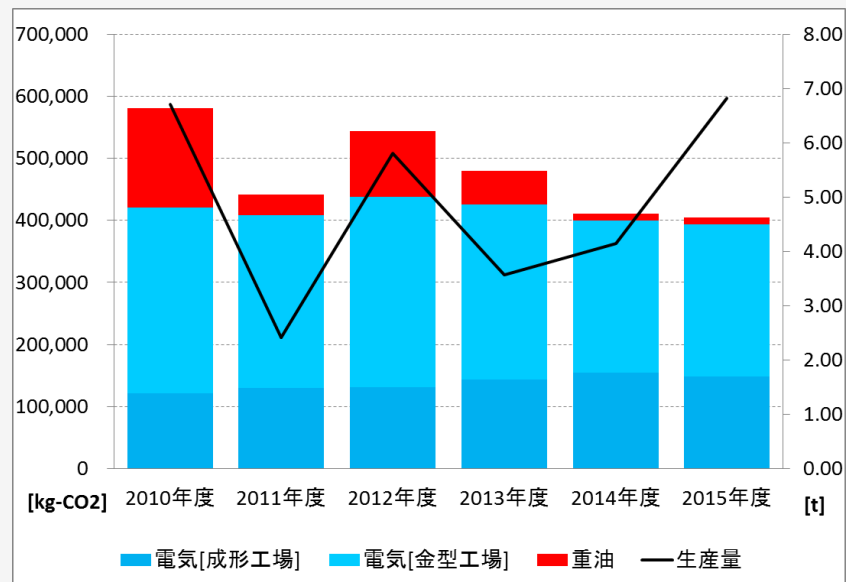
前年比 マイナス 1%

購入電力の削減

- ・生産量が増加したわりには消費電力は前年と変わらずに抑えられた
- ・次年度からは消費電力の大きい設備を効率よく稼働させる様に生産計画を工夫する
- 重油消費量削減
- ・おそらくこれが最低限の消費量なのでこれを維持できるよう今後も効率よく稼働させる

■年度別の二酸化炭素排出量と生産量の関係

		単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
電気[成形工場]	kg-CO2	実績値	121,540	130,241	130,489	143,000	154,746	148,170
		前年比	-	7%	0%	10%	8%	-4%
電気[金型工場]	kg-CO2	実績値	299,514	278,591	307,604	283,129	244,892	245,592
		前年比	-	-7%	10%	-8%	-14%	0%
重油	kg-CO2	実績値	159,868	32,516	105,676	54,193	10,839	10,839
		前年比	-	-80%	225%	-49%	-80%	0%
生産量	t	実績値	6.71	2.41	5.80	3.57	4.14	6.83
		前年比	-	-64%	141%	-39%	16%	65%

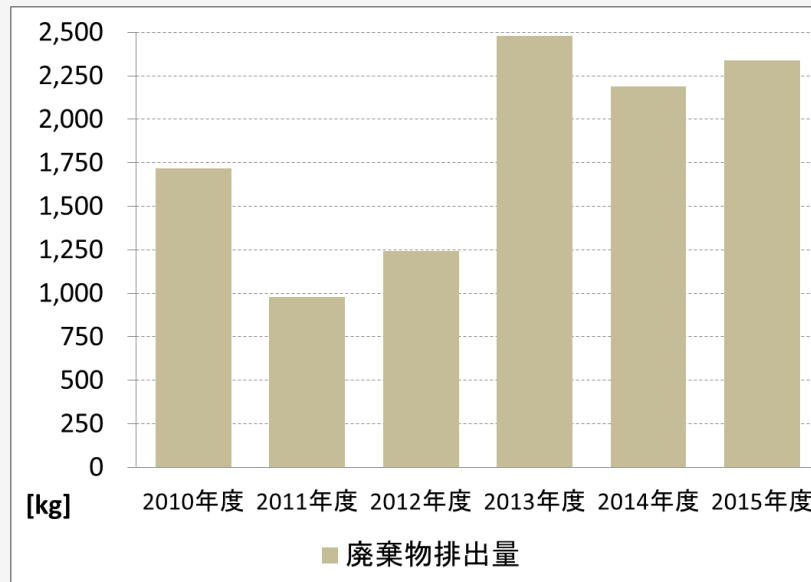


評価: 生産量の増加にもかかわらず二酸化炭素排出量を削減出来たことは評価できる。電力使用量については、成形工場の生産量の増加に伴い電力量も増加しているため、成形工場の設備の省エネ化を推進してもらいたい。

5-2. ゴミ排出量削減

・前年比 プラス 7%

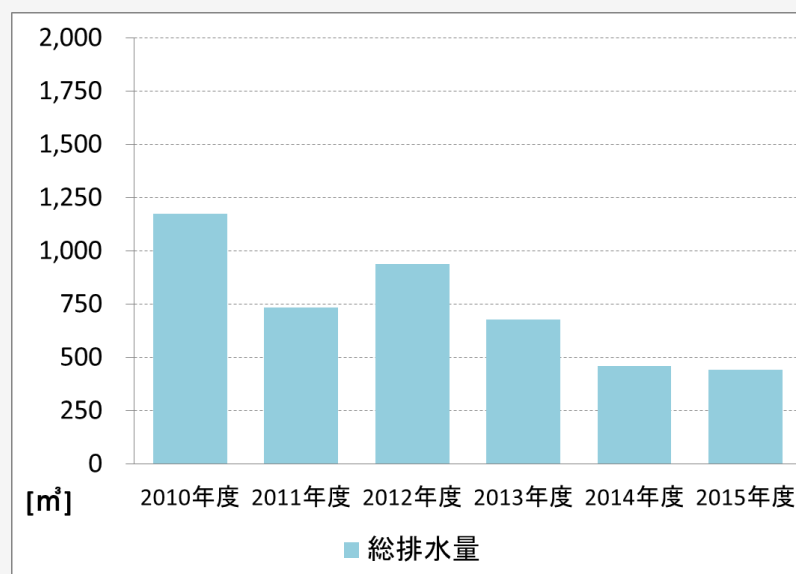
生産数の増加に伴い増加したと思われる。早急に梱包資材の簡素化を推進する



評価: 梱包資材のムダを省く事に加えて、どのゴミが多いかを具体的に確認し、重点的に対策を行うように。

5-3. 水使用量削減

・各従業員の意識で節水を心掛けた結果、維持できている。

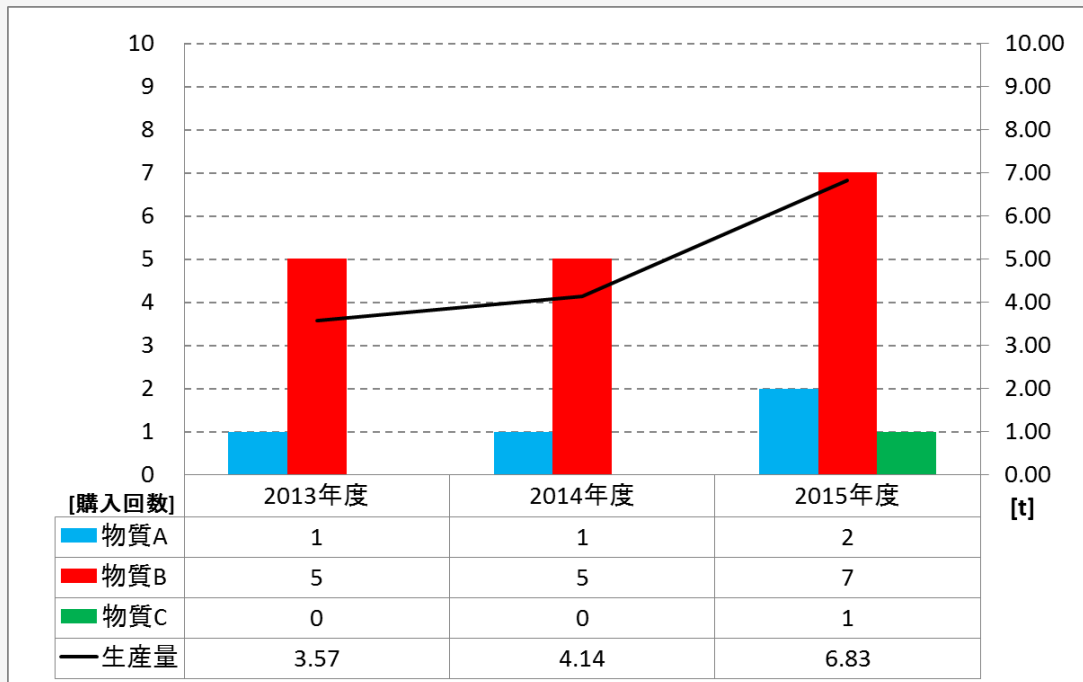


評価: 引き続き節水を心がけてもらいたい。

5-4. 化学薬品管理

- ・生産量増加により購入量は増加したが極端には増加していない。

化学物質の購入回数と生産量の推移



評価:出来るだけ購入回数を抑える事

5-5. グリーン購入推進

- ・ほぼグリーン購入だが 2017 年度版までに数値化を実施する

評価:おそらくほぼできていると思うが、細かい備品などの購入履歴をおさらいして見直し、数値化してみてください。

5-6. 歩留り向上

- ・2015 年 6 月から 2016 年 5 月 総合歩留り 96.9%

- ・2016 年より工程内小ミーティング実施

評価:システム改善によりようやく数値化できたことは評価する。しかし、まだかなり低いので小ミーティングにより不良率の改善やリサイクルの確立、また、データの精度向上などに取り組んでほしい。



6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境法規制違反はありません。

また、訴訟及び関係当局からの違反の指摘も創設以来1度ありません

7. 地域環境活動への参加

毎年6月と12月に行われる工業団地内のゴミゼロ運動に参加

・2016年6月



・2016年6月防災訓練実施





8. 代表者による評価

情報の収集と評価 (Input)		
	システム文書	社長による評価
環境目標の達成状況、 環境活動計画の 実施状況	生産量が増加したわりには消費電力は前年と変わらずに抑えられた。次年度からは消費電力の大きい設備を効率よく稼働させる様に生産計画を工夫する。ゴミ排出量に関しては生産数の増加に伴い、梱包資材の排出量が増加したと思われる。早急に梱包資材の簡素化を推進する。	生産量の増加にもかかわらず二酸化炭素排出量を削減出来たことは評価できる。電力使用量については、成形工場の生産量の増加に伴い電力量も増加している。成形工場の設備の省エネ化を推進してもらいたい。ゴミ排出量に関しては梱包資材のムダを省く事に加えて、どのゴミが多いかを具体的に確認し、重点的に対策を行うように。
法規の遵守状況	遵守できている	引き続き遵守するよう新たな法規の確認や、現状確認を怠らず、従業員教育も確実に実施してもらいたい。
外部からの苦情・要望	近隣住民からの苦情はない また、関係当局や工業団地会からの指摘もなし	引き続き苦情などが出ないよう留意して活動し、近隣や外部からの苦情・要望があった際には真摯に対応し、適切に対応するように。
EA21の取組状況、 教育の状況	2015年6月 中途採用者4名へ 環境教育実施 2016年年始 活動報告実施 2016年6月 中途採用者3名へ 環境教育実施	教育用の資料によりスムーズな教育を実施できていることは評価できる。引き続き、定期的な教育を通して従業員全員が参加する意識を高めてもらいたい。また、資料のメンテナンスも定期的に実施すること。
前回の指導事項の 実施状況	消火訓練未実施の指摘をうけ2016年6月に防災訓練を実施	実施したこと、及びスケジュールの段取り(今回は中途採用者入社時に実施)は評価する。今後も継続的に実施できるよう、計画すること。

エコアクション21 環境活動レポート 2015 年度版

Vol.1.2

活動期間	2015 年 6 月 1 日～2016 年 5 月 31 日
発行年月	2017 年 3 月
発行元	日本特殊光学樹脂株式会社